

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年10月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	高砂建設株式会社
所 在 地	〒510-0042 三重県四日市市高砂町8番29号
代表者役職・氏名	代表取締役 梅田宜嗣
担当者連絡先	電話：059-353-6541（担当：伊藤公隆） メール：soumu@takasago-const.jp
ウェブサイトURL	https://www.takasago-const.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は大正10年に創業し海事に携わり、三重県の港湾を中心に浚渫船を中心とした作業船を用い海上土木工事、浚渫・埋立工事を請負工事を実施している。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	現在実施している 高校生・大学生向けの職場見学会・インターンシップ活動を継続する。	1回/年
✓環境 ✓社会 □経済	清掃活動等に参加し、地域社会への参画を進めるとともに、環境対策に取り組む。	1回/年
□環境 □社会 □経済		

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営陣が積極的に関与している。 ・総務部長を相談窓口とし、年に数回社員教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。 ・顧問・総務部長・総務部参与を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有している。 ・長時間労働は正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8								
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・年1回の個人面談を行っている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社員向けの労働安全衛生講習会の実施等を通じて周知徹底を図っている。		3						8								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年1回ストレスチェックをしている。 ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している。		3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役割に応じた研修を実施または奨励している。 ・社員のキャリア向上のために資格取得を奨励している。			4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・同一労働同一賃金等の原則に沿った公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・社員の健康に留意し、心身の不調を早期に発見できるよう対話に努めている。 ・全国健康保険協会三重支部（協会けんぽ三重）等の保険者が実施する健康宣言事業へ参加している。 ・県の「三重こわか健康経営カンパニー」の認定を受けている。		3						8								
11 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・不要なコピーをやめるなど、紙ごみを減らしている。 ・過剰な包装をやめるなど、使い捨てプラスチックの使用を減らしている。 ・ごみを適切に分別している。										11.6 12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・クールビズ、ウォームビズに取り組んでいる。 ・照明をLEDに切り替え、節電に取り組んでいる。							7.3					13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自動車の駐車時等のアイドリングストップ運動をしている。							7.2 7.3				12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮したサービスに提供を通じて、生物多様性保全に配慮している。						6.6							15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・節水に取り組んでいる。 ・汚水の適切な処理に取り組んでいる。						6.4 6.6									
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証を取得している。		3.9			6	7					12	13.3	14	15	
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ホームページ等で環境情報を公開している。												12.6			
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・資材置き場へ太陽光パネルを設置し、利用している・グリーン電力の調達、利用に努めている。						7.2					13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15	
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4				
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・顧客の意見を製品やサービスに反映する仕組みを構築している・ISO9001の認証を取得している。								9							
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・特許取得している「浚渫機及びこれを用いた浚渫方法」(低燃費と環境性能の向上)。 ・環境に配慮した製品を優先的に購入している。					6						12	13	14	15	
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地域住民との対話や見学会などを実施し、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4					9		11	12		14	15
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・港海岸周辺や地域等の清掃活動に参加し、定期的に事務所付近の清掃活動に取り組んでいる。				4							11		14	15	17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13		

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・掲示板、会議等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。 ・定期的にコンプライアンス研修を行っている。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・責任者を明確にして体制を管理している。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・アンケートなどで顧客の声を取り入れている。 ・取引先や行政機関など、ステークホルダーと連携した取組を進めている。																16 17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISOを通して法令順守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している。																16
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・CSR方針を策定している。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画を策定している（国土交通省建設会社における災害時の事業継続力認定）。 ・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出しや評価を行い、対策を講じている。								9		11		13.1				16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・後継者候補を育成している。								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。